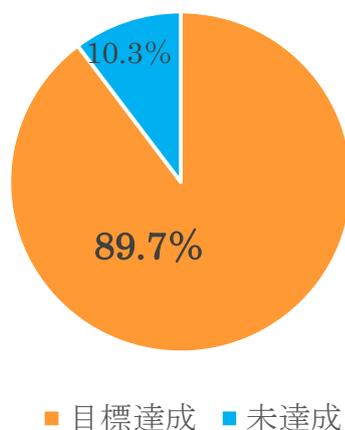


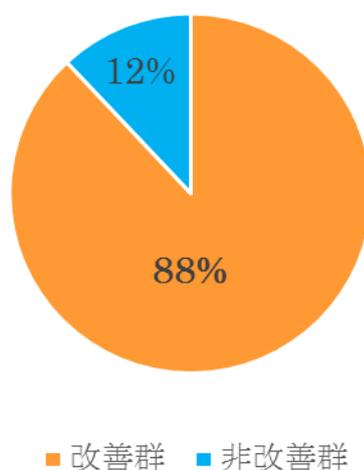
松江記念病院リハビリテーションからのご報告 vol.1

当院（亜急性期）リハビリテーションにおける改善群割合は全対象者の88%と複数の病態を併せ持つ超高齢者を対象とする特性がある中でも高い実績を上げています。また、入院時にご家族様・ご本人様と一緒に立てた目標の達成率は89.7%となっています。

松江記念病院リハビリテーション（亜急性期）
目標達成率



松江記念病院リハビリテーション（亜急性期）
介入前後のFIM改善群（FIM利得11点以上）割合



※ 回復期における廃用症候群患者のFIM利得の全国平均は10.4点。このデータを元にFIM利得からのリハビリテーション改善群を11点以上とし、10点以下を非改善群に分類する文献が多数みられます。